

「結婚できない男」 第1話 一人が好きで悪いか! (1)

* 桑野
何?

パーティー?

何、それ?

* 村上
「何、それ」じゃないでしょ。

坂本さんのレストランで、三周年パーティーですよ。

* 桑野
ああ、忘れてた。

いいよ、俺は。

* 村上
桑野さんが招待されたパーティーに俺だけ来て、変でしょ。

* 桑野
古代ローマ人のパーティーってのはな、寝そべって、手づかみで食ってたらしいな。

知ってるか?

* 村上
そんなウンチクはいいから!

近々家建てたいって人がいるんです。

たまには営業してくださいよ。

* 桑野
しかも、手がベトベトになったら、

自分の服で拭いてたらしいぞ。

* 村上
法隆寺の五重塔って何階建てか知ってますか。

* 女1
五階建てじゃないんですか。

* 村上
う〜ん、

実は一階建てなんです。

* 女1
えっ、どうして?

* 村上
五重塔の中って一階の床だけしかなくて、あとはズドッと吹き抜けになってるんですよ。

だから、一階建てなんです。

* 女1
ふうん。

* 桑野
俺の受け売りだろ、それ。

* 村上
先生!

* 桑野
「先生」はやめろ。

* 村上
はい。

あ、さっき話してた桑野さん。

* 女1
ああ!

今晚は。

すごい優秀な建築家さんだってお聞きしました。

* 桑野

いえ。

* 村上
ああ、電話で言った人、こっちです。

* 桑野
なら、もう話は終わった。

キッチンの重要性を理解してない。

議論にならない。

* 村上
営業してくださいって言ったのに、議論して
どうするんですか。

* 桑野
キッチンからバスルームにかけての便利さを
理解できないらしいんだよ、彼は。

* 女1
桑野さんは、どうして建築家になられたんですか。

* 桑野
神のお告げがありまして。

* 村上
今の、ギャグです。

* 女1
面白い方ですね。

* 桑野
高校のときに「ブレード・ランナー (Blade
Runner)」見ましてね。

映画のド頭に、ピラミッドみたいな壮大な建
物が出てくるでしょ。

見ましたか。

* 女1
ああ、見てないんです、その映画。

* 桑野
あ、そう。

女1
私、メジャーの映画しか見なくて…

* 桑野
十分メジャーだけど…

* 村上
オタク映画。

* 女1
そのうち見ます。

* 桑野
「そのうち」なんて言って、見た奴ほとんど
いませんよ。

* 女1
すみません。

あ、あの。何か、召し上がりますか？

このスパゲッティ、おいしいですよ。

* 桑野
ちょっと冷えてるな。

スパゲッティってのは、直径約 1.9 ミリの
ものを言うんですよ。

これはちょっと細いから、厳密にはスパゲッ
ティーニ。

つまり、あなたは本当は、「スパゲッティー
ニ、おいしいよ」と僕に言うべきなんです。

* 女1
そうですか。

* 桑野
話を元に戻しましょう。

「ブレード・ランナー」を見る前に抑えてお

「結婚できない男」 第1話 一人が好きで悪いか! (1)

く映画としては、「未来世紀ブラジル」「時計仕掛けのオレンジ」…

* 女1
すみません、失礼します。

* 村上
ほーら、嫌われた。

* 桑野
構わん。

* 早坂
あの…

* 男1
僕はいずれ教授になりますから。

実際、教授の奥さんはお医者さんが多いでしょ。みんな、ご主人の研究を支えていたんですね。

その投資の甲斐あって、今じゃ左団扇ですよ。

* 早坂
そうですか。

* 男1
あ、いっそ開業されたらどうですか。そのほうが実入りがいいでしょう。

* 早坂
あの…

* 男1
開業資金はうちの父が貸してくれるでしょう。場所は、そうだな…

* 早坂
ちょっと

* 男1
はい?

* 早坂
何か、あたしたち結婚する前提で話が進んでませんか?

* 男1
そうですね!

* 早坂
えっ?

* 男1
えっ?

* 女1
おやすみなさい。

* 村上
おやすみなさい。

あー、ちょっとはキャラ考え直さないと、孤独になりますよ。

* 桑野
孤独?構わんな。

* 村上
ご自由に。

* 沙織
英治くん!

* 村上
あー、さおりちゃん、お待たせ!

それじゃ、失礼します。

* 桑野
中途半端な時間だな。

(アダルト コーナー)

* 客・男
アクションもいいけど、AV でいいのがある

んだって…

* 客・女
アクションが絶対いいよ。

* 店員
いらっしゃいませ。

これ、映画本編じゃなくてメイキング
(‘Making of video’)ですけど、いいですか。

* 桑野
分かってます。

* 早坂
おっと。

はい、はい。

来た、来た。

* 沢崎
こちらは桑野が設計した一番新しい住宅に
なります。

* 客
いやー、いいですね。

私も是非お願いします、桑野先生に。

* 桑野
この間も言いましたが、「先生」と呼ぶのは
やめて下さい。

* 客
あ、すいません、つい…

* 沢崎
済みません、気を使わせてしまいまして。ク
リエーターっていうのはもう…

* 客
偏屈ぐらいじゃないと、いいものがない

でしょ。ねえ。

* 桑野
偏屈じゃ、いいものできませんよ。

発想の柔軟性なしに、こういうものできると
思いますか。

* 客
そっ、そうですよね。すいません。

* 沢崎
まっ、ちょっと取っ付きにくい人ですけど、
腕は確かですから。

それに私どもジャパン住宅プロデュースが
完成まで責任を持ってマネジメントさせ
ていただきますのでご安心下さい。

* 客
はい。

建築屋さんに頼むとね、すごく奇抜な家にな
っちゃうんじゃないかって心配したんです
けども、この家を見て安心しました。

何て言うか…適度にユニークって感じで。

* 桑野
ユニークと奇抜の定義の違いを教えていた
だけですか。

* 客
えっ?

* 桑野
抽象例より、もっと具体的に言ってもらった
ほうが有り難いんですが。

* 村上
えーと、例えばリビングは広めがいいとか、
サンルーフが欲しいとか…

* 客

「結婚できない男」 第1話 一人が好きで悪いか! (1)

ああ、具体的にね。あ、そう、そう、そう。

これっ。これなんか、いいと思うんですよ。
イメージとぴったりだ。

* 桑野
それ、誰の設計ですか。

* 客
えっ?これはね…

前田則之さんですね。

* 桑野
前田さんの事務所は新宿です。場所を教えてください。

カバン持ってきて。

* 村上
はい。

* 客
えっ?

(ま) ったく! あれが偏屈じゃなくて何なんだ!

[3F 桑野建築設計事務所]

* 沢崎
油断した… 前もって注意しておけばよかった。

* 村上
はい。

* 沢崎
ありがとう。

* 村上
これじゃ、事務所やっていけないですよ。

* 沢崎

私だって一介のサラリーマンだし、
売上目標のノルマがあるのよ。

じゃあ、あのお客さん、他の建築事務所に回すわよ。

* 桑野
ご自由に。

* 村上
あーあ、俺の安月給も永久に解消されないわけか。

* 桑野
建築事務所のスタッフっていうのは、昔から
安月給って決まってるんだよ。

* 村上
誰が決めたんですか。

* 桑野
俺だ。

* 沢崎
あっ。キッチン、オープン型にしたんだ。

* 村上
はい! 採光もいいし、動線もスムーズになったでしょ。

このモデル見て、クライアントも納得ですよ。

* 桑野
日本の住宅ってのはさ、部屋数を多くとるために
キッチンはたいていの場合、隅の方に追いやられてる。

ところが、こうやってキッチンを中心に発想
していけば、部屋数は減っても、結果的には
住む人の快適な生活を、夢を形作ることができるんだよ。

* 沢崎
何か、幸せな家庭が見えてくる気がする。私

「結婚できない男」 第1話 一人が好きで悪いか! (1)

も結婚したくなってくるなあ。

* 桑野
とは言っても現実には、その家に住んで喜ぶのは、暇な時間を持て余している奥さんだけだけだな。

だんなは妻と子供と家のローンという人生の三大不良債権を背負う羽目になる。

俺たちはそのうちの一つをこうやってまじめにセコセコ作ってるわけだ。

* 沢崎
自分で作っておいて、よくそんなことが言えるわね!

* 村上
沢崎さん、付き合っただけであげたらどうですか。

* 沢崎
あっ?

* 村上
彼女がいたほうが少しはましになると思いますよ。

* 沢崎
パス! 私にだって理想はあるのよ。

* 村上
あー、誰かいねえかな。

もう、しょっちゅう買い物に行けだの洗濯物取って来いだの、もうやなんですよ。ここにきて2年、ずっとなんですよ。

* 沢崎
私なんか仕事一緒にして8年よ。

* 村上
8年? よく我慢してますね。

* 沢崎

仕事だからよ。

あなた、どうなの?

* 村上
あの人の技術盗むまでの我慢ですよ。

* 桑野
我慢しなくても建築家はいくらでもいるよ。

* 村上
うわっ、聞いているよ。

* 桑野
あれっ? やっぱり気になるな、ここ。

* 沢崎
ちょっとこれ、許可取ったんじゃないの。

* 村上
ああっ、ちょっと壁だけは絶対壊さないで下さいよ、壁だけは。 壁、壁!

ああ〜。また作り直しだあ。

* 桑野
頼むよ、これ。

* 沢崎
頼むね。

* 村上
頼むって…

* 桑野
やっぱりキッチンをもっと広くするか。